

緑の担い手

林業に就いてみて

大森 涼太



私は、茨城県立小瀬高等学校を卒業し、地元の常陸大宮市森林組合に入社しました。私がこの組合を選んだ理由は、二つあります。

一つ目は、私の住んでいる旧美和村は、沢山の自然があり、とても良い所です。小さな頃から山で友達と遊んだりしました。この自然豊かな地元の自然を守りたいと思ったからです。

二つ目は、私の祖父も林業の仕事をしており、私も祖父と同じ仕事をしたいと思いました。

実際の仕事では、最初に刈り払い機を使った下草刈りの作業をしました。この作業がこれまでで一番きつい作業でした。最初は、そんなにきついとは思っていませんでしたが、実際には朝早くから始まり、お昼頃までの作業で最初は体が慣れず本当にきつく大変でした。下刈りが終わると、次は伐採などチェーンソーを使う仕事になりました。

私は、現在四年目となり、高性能林業機械のグラップル、フォワードなどを使い、主に丸太を山から土場に運搬する仕事をしております。最初は上手く操作出来なくて大変でしたが、緑の雇用研修などで高性能林業機械の研修を受けたことで、上手く操作出来るようになりました。

また、緑の雇用研修では、他の色々な事業者の人達と意見を交換してみると、会社によって仕事のやり方など違う事が分かり、とても勉強になりました。

私もこれからは、伐倒や機械操作などもっと上手くなり、現場での作業効率を考え、この林業と言う仕事をこれからも続けて行きたいと思えます。